

○●○ 朝日町パソコン研修会 ○●○

会場：第1回8月7日（木）さみさと小学校 第2回8月8日（金）朝日中学校

講師：NTT西日本北陸富山支店 後藤昌則さん（8/7）小坂 誠さん（8/8）
朝日町情報教育研究調査員の先生方（両日）

内容：①情報モラル指導の授業提案
②サイバー支援事業講習



今年度のパソコン研修会は、喫緊の課題と言える情報機器によるトラブルの対応について、教職員の意識と対応力を高めることをねらいとして開催しました。



情報モラル指導に配慮することは、新学習指導要領にも打ち出されています。

調査員の先生方は、初めての試みに協力的に取り組んでくださいました。まずは提案された授業に、ぜひとも取り組んでいただきたいものです。

「便利なものには、危険を伴う」「知らないで利用することは危険だ」ということをこの研修会で学ぶことができた。現代の子供たちは、ネットオークションでほしい物を購入するなど大人以上にパソコンを上手に使うことができる。そうした子供たちに対して、インターネットの危険性について教えていかねばならないと痛感した。また、保護者に対して強く知らせていく必要があると感じた。

（五箇庄小学校 大蔵 慶子）

今年は今までのスキル研修とは違い、「情報モラル研修会」を行った。全国的にネットにかかわるトラブルへの対応が緊急の課題でもあり、小学校の先生方にも知っていただく上でも、調査員の私たちにとっても勉強になったよい機会だったと思う。活動が少なく物足りなかった点があるが、学校での共通の認識として子供たちの指導に生かせればよいと思っている。

（朝日中学校 林 和子）

○●○ 朝日町児童理解研修会：8月18日（月）○●○

講師：朝日中スクールカウンセラー
丸田 知明 先生

内容：気になる児童生徒とのカウンセリング



最近の児童生徒は、思いを話し合うことや、家族と話すことが少なくなったことなどから「感情が未分化（感じる心の未発達・表現力の未発達）」な傾向があるそうです。そうした子供たちには、「感情の分化（自分が何を感じているか自覚し、それを表現・伝達する）」を促すために、心地よい語り口やトーンで心に寄り添って話しかけ、「自分で気づかせる」ようにかかわることが効果的だそうです。中学生くらいになると暗喩（メタファー：たとえる話）を用いて話をすることで、生徒は「学習する」ことができるとのこと。直接的なメッセージではない対応を心がけていきたいものです。